

## 辰口広樹さん 第9回大分県なし研究会果実品評会で最優秀賞

2月19日(火)に大分市で行われた「平成19年度園芸関係表彰式」で、安岐町山浦の辰口広樹さん(31)が、第9回大分県なし研究会果実品評会最優秀賞を受賞しました。

現在父親の善明さんと一緒に梨を栽培している辰口さんは、「今回の最優秀賞受賞はたいへんうれしいです。梨作りは天候に左右される大変な仕事ですが、今後も良品作りのために研究と管理に努めながら頑張ります。」と話しています。



## 井上敦之さん 大分県農業会議会長表彰(永年勤続農業委員)を受賞



▲農業委員研修大会で表彰を受ける井上さん(中央)

国見町竹田津の井上敦之さんが平成19年度大分県農業委員研修大会(1月24日(木)、別府市)で、大分県農業会議会長表彰(永年勤続農業委員)を受賞しました。

井上さんは、平成5年から旧国見町農業委員を5期13年歴任し、平成17年からは農業委員会長を務め、国見町農業の活性化に努めました。また合併に伴い平成18年3月から平成19年3月まで国東市農業委員として農地利用集積や農地流動化を積極的に推進するなど、国東市農業の発展に尽力されました。

## 武蔵流でさわやかな汗 しいたけ駒打ち作業体験

2月11日(月)、午前10時から、武蔵町吉広の山林で武蔵流グリーンツーリズムの会(清原米蔵会長・会員16人)主催の「しいたけ駒打ち作業体験」が行われました。風もない絶好の天候にも恵まれ、参加した11人の皆さんは、清原会長や地元の椎茸生産農家の三浦通生さんの手ほどきを受けながら、初めての駒打ちの作業にさわやかな汗を流しました。

現地は、清原政昭さん所有の山林の山頂付近で、絶景を見ながらの駒打ちをした後、清原会長所有の山林でひらたけの菌付けを行いました。ひらたけは、1年で収穫できるため、1年後に参加した皆さんにさし上げる予定です。

昼食は、弁当と会長さんの奥さん手作りのうどんを食べながら、参加した皆さんと地元の人達との交流を行った後、午後からは地元吉広の西光寺(臺隆道住職)で座禅をして、心静かなひとときを過ごしました。



## 竹材生産研修会開催



▲午後からは、武蔵町の上野山さんの管理する竹林で現地研修を行いました

2月6日(水)、午前10時からいこいの村国東で、大分県竹産業連合会(岩波寅幸会長)主催の平成19年度竹材生産研修会が、竹林所有者等関係者30人が参加して開催されました。

研修会では、まず、北九州市立大学文学部の岩松文代准教授が「竹文化に対する視点」と題して講演。続いて、大分県竹産業連合会の上野山貞男理事(国見町)が「竹林の大径竹から小径竹への誘導」と題して、荒廃しつつある里山の竹林改善と後継者対策について講演しました。

上野山さん(72才)は、昭和30年から製竹業を営むとともに、優良竹材の育成に取り組んでおり、東国東郡森林組合理事や(社)国土緑化推進機構認定の平成18年度「森の名手・名人」100人として活躍しています。

需要のある小径竹林への誘導等により、竹産業の振興を図ることの重要性を改めて認識する機会となった有意義な研修となりました。